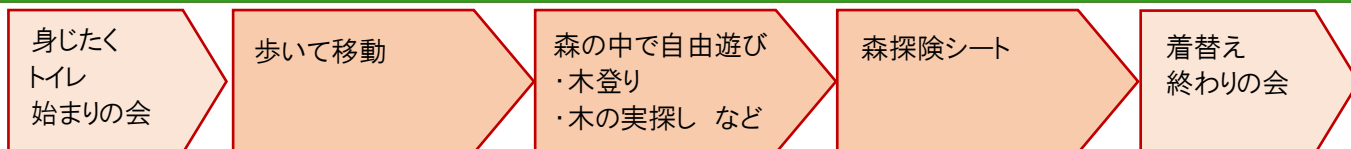


森あそび・森探険ってこんな活動

フィールドは、適度に整備された森の中です。降雪によって根元から曲がってしまった広葉樹の森は、子どもたちが自然とまたがったり、よじ登ったりしたくなる自由な遊びが広がる森です。

また、森の中は宝物であふれています。どんぐりなどの木の実はもちろん、様々な葉の形や虫食いの様子に興味を持ったり、木々の隙間から射してくる太陽の光の変化に気づいたり、想像力を掻き立てて遊びが展開していきます。

活動モデルプラン



予想される子どもの姿・こんな支援をします

日常踏み入れることのない森の中を進むことは、立派な探険です。「探険隊出発！」など声掛けをしてスタートすると、期待や意欲が高まります。どんどん活動場面が変わるので、その場その場を十分に楽しめるよう支援します。

<p>フィールドへ移動する途中にも楽しみがあります。森の小道がどこへ続いているのかワクワクした気持ちで進んでいきます。</p>	<p>様々な形に伸びた木々は、子どもたちの意欲を刺激します。木の手触りを感じ自分でチャレンジする木を見つけては、少しずつ自信をつけながら登ったり、ぶら下がったりします。</p>	<p>どんぐりやセミの抜け殻、小枝など、お気に入りの自然物を使った見立て遊びも広がります。生き物との出会いもあります。仲間同士で共有し、互いに認めあえる喜びを感じます。</p>	<p>森探険シート</p>
	<p>木の下に石や落ちた枝がないか注意が必要です</p>		

<p>ただ歩くだけでなく、天候や自然物への気づきなど、発話にも耳を傾けながら、その後の活動への期待感が高まるように声をかけて進みます。</p>	<p>安全に注意しながら、子ども自身の頑張りを見守ります。手を貸すことは極力せず、工夫して登っている姿を紹介したり、仲間同士のかかわりを促したりして、子ども自身が自信を持てるようにかかわっていきます。</p>	<p>子どもたちの発見や喜び、驚きの声を大切にします。採取したものを見やすくし、仲間同士で好奇心を共有することで、自然に対する興味関心を深めます。</p>	<p>遊びのきっかけとしてご活用ください。「めだまっち!!」や「葉っぱじゃんけん」など、森探険で活用できるシートを提供することもできます</p>
---	--	---	--

参加者の服装

長袖長ズボン

履きなれた靴

帽子

(雨具)

(長ぐつ)

※水筒を持つ場合は、木登りを
する前などに降ろす



施設支援者の持ち物(一例)

トレー(自然物を共有するときに便利)

剪定ばさみ

ルーペ

活動マップ



りすの森・さるの森

広い森で、段階に応じた
木登りを楽しめます。

ありの巣の森

木登りだけでなく、森の中の小道
は探検に適しています。

第2 ナラの木広場

大きな木が多く、お気に入りを見
つけることができます。

元気もりもりの森

コンパクトで、初めての木登り
体験に適しています。

ナラの木広場

平らな広場と、いくつかの
小道がつながっています。

安全管理 (セーフティークで、事前に周知しましょう)

【触らないほうがよい植物や危険な生き物に注意！】写真やイラストを使います。

ウルシ…実物や写真を見せて、茎の部分が赤いことを知らせます。触るとかぶれることがあります。

ハチ …走って逃げない。その場でしゃがんで、飛び去るのを待ちます。

ヘビ …棒で触ったり蹴ったりしない。静かに、その場から離れます。

毛虫 …手で触らずに木の棒などで除けます。

【足元に注意！】

木の根が浮いていたり、尖った岩の一部が顔を出したりしていることがあります。

【木登りの時の注意！】

木の状態を確認することが大切です。立ち枯れしている木や、折れた枝が引っかかっていることもあります。

登ろうとしている木の周辺の地面にも目を向けます。尖った岩の一部が顔を出していることがあります。

高い場所から下りるときも、最後まで見守ることが大切です。